

所沢市橋梁長寿命化修繕計画



令和5年度～



所沢陸橋点検状況



松戸橋洗堀防止工

令和8年6月改訂

所 沢 市

目 次

1. 長寿命化修繕計画策定の背景と目的・・・・・・・・・・・・・・・・	p.1
1.1 背景と目的	
2. 長寿命化修繕計画の計画期間と対象施設・・・・・・・・・・・・	p.2
2.1 計画期間	
2.2 本計画の対象施設	
3. 対象施設の現状と健全性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	p.10
3.1 対象施設の現状	
3.2 定期点検の実施による損傷現状の把握	
3.3 対象施設の点検結果	
3.4 健全性の評価	
4. 長寿命化修繕計画における基本方針・・・・・・・・・・・・・・	p.22
4.1 長寿命化に向けた維持管理の基本的な考え方	
4.2 定期点検の実施による健全性の把握	
4.3 修繕の基本的な実施方針	
4.4 新技術の活用方針	
4.5 費用縮減に関する方針	
4.6 修繕の優先度に関する考え方	
4.7 長寿命化に向けた日常的な維持管理の基本方針	
5. 長寿命化修繕計画による効果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	p.32
6. 今後5年間の修繕計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	p.33
7. 個別の構造物ごとの事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	p.34

1. 長寿命化修繕計画策定の背景と目的

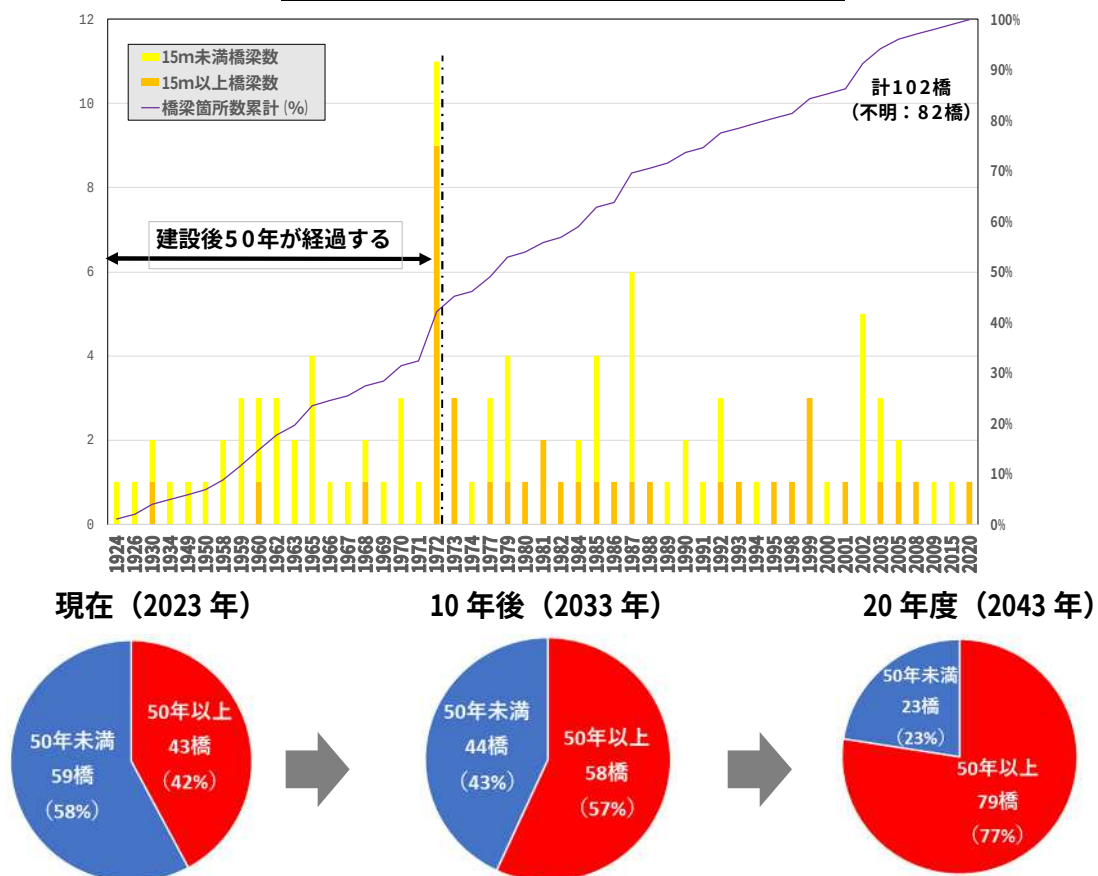
1.1 背景と目的

所沢市では、平成 26 年 3 月に策定した橋梁長寿命化修繕計画にて、橋長 15m 以上の橋梁や緊急輸送道路に位置づけられている橋梁など、主要な橋梁 35 橋について、令和 2 年度からは、橋長 15m 未満の橋梁を含めた 181 橋について、予防保全の考え方にに基づき定期点検や維持修繕を実施してきました。

所沢市が管理する 181 橋には、2022 年度（令和 4 年度）時点で建設後 50 年を経過している橋梁もあり、20 年後には所沢市が管理する橋梁全体の約 8 割の橋梁が建設後 50 年を超えるものとなり、橋梁の老朽化は更に進んでいきます。これらの橋梁に対して適切な補修を行わず、損傷が顕在化した場合、大規模修繕や架替を行うための莫大な費用が発生することや、交通に大きな影響が生じることなどが予想されます。

本橋梁長寿命化修繕計画では、所沢市が管理する 181 橋を対象として、令和 2 年度に策定した橋梁長寿命化修繕計画を基に、道路ネットワークの安全性と信頼性の確保や維持管理費の縮減、および修繕費用の平準化を図ることに加え、新技術の活用検討及び費用の縮減に関する方針策定を目的に、「所沢市橋梁長寿命化修繕計画」の見直しを行いました。

所沢市が管理する橋梁の建設年度と経過年数



※ 建設年度不明橋梁は除く

2. 長寿命化修繕計画の計画期間と対象施設

2.1 計画期間

令和5年度（2023年度）～ 令和9年度（2027年度）

『所沢市橋梁長寿命化修繕計画』の計画期間は、令和5年度から令和9年度の5年間とします。

予防保全型管理を継続するため、5年に1度の定期点検を実施し、各橋梁の健全性を確認しながら、長寿命化修繕計画は適宜見直すものとし、PDCA サイクルに基づいて進めていきます。

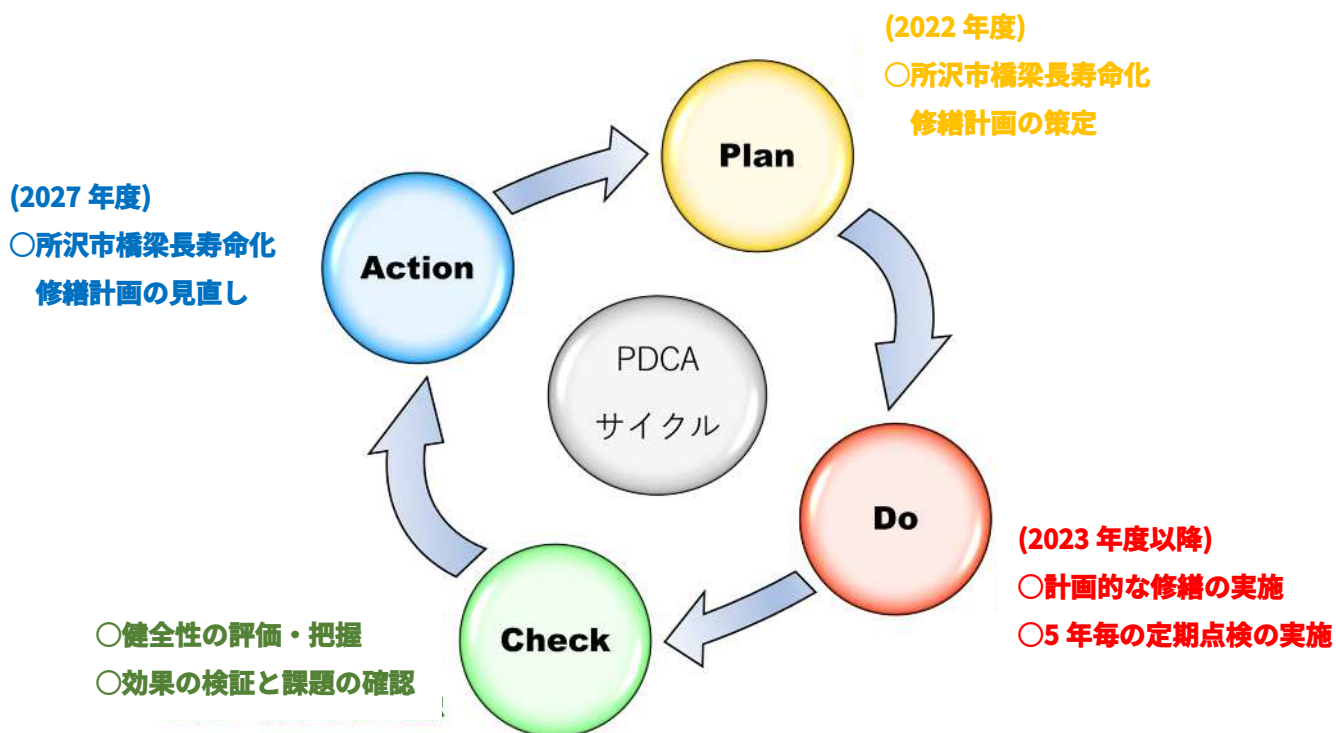


図1 『所沢市橋梁長寿命化修繕計画』におけるPDCAサイクル

2.2 本計画の対象施設

本計画の対象施設は、所沢市が管理する橋梁 181 橋とします。

対象施設の概要は以下の通りです。

表 1 本計画の対象とする橋梁一覧

No	橋梁名称	路線 番号	住所	橋長 (m)	橋種	建設 年次	交差 物件
1	所沢陸橋	1-1	上安松 1150-3	121.35	R C	1973	鉄道
2	松井橋	1-3	新井町 13-17	7.40	R C	1959	河川
3	旭橋	1-4	御幸町 12-12	10.20	R C	1930	河川
4	清柳橋	1-900	城 1-1	38.8	鋼	2024	河川
5	611号橋	1-65	城 477-1	17.70	R C	1972	鉄道
6	606号橋	1-265	下安松 753-9	15.45	R C	1972	鉄道
7	松戸橋	1-365	上安松 46-7	18.70	P C	1960	河川
8	宮前橋	1-489	西新井町 5-18	8.10	R C	1987	河川
9	千歳橋	1-491	西新井町 8-3	6.50	P C	1962	河川
10	329号橋	1-500	西新井町 21-19	8.00	P C	不明	河川
11	むつみ橋	1-512	東町 16-11	17.50	R C	1968	鉄道
12	鳥居橋	1-632	御幸町 4-7	3.70	R C	1924	河川
13	三浦橋	1-645	寿町 26-9	4.85	R C	1926	河川
14	境橋	1-646	寿町 25-13	5.25	R C	1962	河川
15	琴平橋	1-651	有楽町 6-7	5.50	R C	2009	河川
16	321号橋	1-657	元町 25-11	3.30	R C	不明	河川
17	319号橋	1-659	金山町 20-9	10.20	鋼	不明	河川
18	320号橋	1-659	宮本町 1 丁目 7-7	3.30	R C	不明	河川
19	318号橋	1-672	宮本町 1 丁目 13-6	6.50	BOX	不明	河川
20	清流かわせみ橋	1-892	下安松 1037	18.10	P C	2020	河川
21	704号橋	1-733	東所沢和田 1 丁目 27-5	8.60	P C	不明	河川
22	松柳橋	1-846	下安松 50-86	44.10	鋼	1995	河川
23	とんぼ橋	1-873	北秋津 431-9	19.47	P C	2008	河川
24	柳瀬橋	2-2	亀ヶ谷 133-3	17.70	P C	1988	河川
25	247号橋	2-225	下安松 1482-8	3.50	BOX	不明	河川
26	543号橋	2-240	日比田 686-1	2.70	BOX	不明	河川
27	にこにこ橋	2-479	城 972-11	20.50	P C	1985	河川
28	日比田橋	2-540	日比田 764-3	13.40	P C	1992	道路

No	橋梁名称	路線 番号	住所	橋長 (m)	橋種	建設 年次	交差 物件
29	松郷工業橋	2-553	松郷 151-20	15.40	PC	1982	河川
30	350号橋	2-571	新郷 221	3.90	BOX	不明	河川
31	弘法橋	2-732	松郷 79-3	15.70	PC	1999	河川
32	川端橋	2-765	松郷 113-7	20.70	鋼	1973	河川
33	長栄橋	2-780	牛沼 573-1	14.30	PC	2002	河川
34	加美橋	2-807	牛沼 169-6	14.30	PC	2002	河川
35	中橋	2-818	牛沼 156-18	15.10	PC	2001	河川
36	牛沼橋	2-819	牛沼 316-2	12.30	PC	1958	河川
37	340号橋	2-820	東新井町 288-13	5.70	RC	不明	河川
38	境橋	2-820	東新井町 288-2	6.60	PC	1958	河川
39	東橋	2-822	東新井町 274-4	6.55	PC	1959	河川
40	学校橋	2-838	東新井町 128-5	7.64	PC	2015	河川
41	609号橋	2-869	東所沢和田 1丁目 1-1	35.12	RC	1972	鉄道
42	新日比田橋	2-869	東所沢 2丁目 13-1	16.80	PC	1986	河川
43	稻荷橋	2-870	東所沢 3丁目 36-63	15.66	PC	1992	河川
44	本郷架道橋1	2-886	東所沢 4丁目 21	18.20	RC	1972	道路
45	610号橋	2-911	東所沢和田 5丁目 10-2	34.80	RC	1972	鉄道
46	608号橋	2-990	東所沢和田 1丁目 6-1	26.30	RC	1972	鉄道
47	松郷橋	2-996	松郷 142-4	15.30	PC	1998	河川
48	本郷架道橋2	2-1010	東所沢 4丁目 21	18.70	RC	1972	道路
49	新東橋	2-1098	東新井町 274-4	16.05	PC	1987	河川
50	あけぼの橋	2-1103	牛沼 588-3	15.80	PC	2005	河川
51	248号橋	2-1157	下安松 1482-13	3.50	BOX	不明	河川
52	234号橋	3-165	下富 592-5	10.20	鋼	不明	河川
53	239号橋	3-170	下富 475-1	10.20	鋼	不明	河川
54	駿河台4号橋	3-182	下富 183-1	13.16	PC	1979	河川
55	駿河台3号橋	3-187	下富 183-1	13.17	PC	1979	河川
56	所沢2号橋	3-192	下富 178-8	14.80	PC	1984	河川
57	所沢1号橋	3-196	下富 112-1	17.66	PC	1984	河川
58	230号橋	3-501	美原町 5丁目 2310-1	4.80	RC	不明	河川
59	229号橋	3-507	美原町 5丁目 2035-4	3.82	PC	不明	河川
60	228号橋	3-516	北所沢町 2256-42	5.06	PC	1977	河川

No	橋梁名称	路線 番号	住所	橋長 (m)	橋種	建設 年次	交差 物件
61	227号橋	3-524	北所沢町 2256-47	5.06	PC	1977	河川
62	225号橋	3-625	青葉台 1252-31	5.02	PC	不明	河川
63	新所沢跨道橋1号橋	3-723	緑町 2丁目 2-11	8.00	BOX	2000	道路
64	249号橋	3-733	美原町 5丁目 2026-7	4.58	BOX	不明	河川
65	あらく跨道橋	4-1	上新井 2丁目 47	16.50	BOX	2003	河川
66	307号橋	4-2	北野 1丁目 15-1	4.40	RC	不明	河川
67	307号歩道橋	4-2	小手指元町 3丁目 22-39	6.54	鋼	不明	河川
68	天明橋	4-3	北野 2丁目 16	2.50	BOX	不明	河川
69	狭山湖橋	4-5	三ヶ島 1丁目 702-1	4.00	PC	1963	河川
70	不動橋	4-5	北野 3丁目 6-9	5.50	PC	1963	河川
71	寺山橋	4-7	三ヶ島 3丁目 1362	5.30	PC	1970	河川
72	119号橋	4-8	西狭山ヶ丘 2丁目 2028-4	2.40	BOX	不明	河川
73	118号橋	4-9	林 2丁目 3196-1	2.40	BOX	2002	河川
74	117号橋	4-11	三ヶ島 5丁目 1971	2.40	RC	不明	河川
75	111号橋	4-11	林 1丁目 198-10	5.30	PC	不明	河川
76	111号橋歩道橋	4-11	林 1丁目 198-10	5.44	RC	2002	河川
77	316号橋	4-32	西所沢 1丁目 20-8	4.50	RC	不明	河川
78	315号橋	4-37	上新井 2丁目 8-33	4.67	RC	不明	河川
79	313号橋	4-45	上新井 2丁目 27-1	3.75	RC	不明	河川
80	312号橋	4-46	上新井 2丁目 27-6	3.15	RC	不明	河川
81	312号橋人道橋	4-46	上新井 2丁目 66-1	5.60	鋼	1987	河川
82	314号橋	4-63	上新井 2丁目 17-1	4.40	RC	不明	河川
83	上新井陸橋	4-63	上新井 2丁目 34-1	15.50	鋼	1972	鉄道
84	310号橋	4-122	上新井 3丁目 14-29	5.12	PC	1992	河川
85	309号橋	4-136	小手指元町 2丁目 19-3	5.03	PC	不明	河川
86	308号橋	4-170	小手指元町 2丁目 24-30	7.60	PC	不明	河川
87	221号橋	4-197	小手指町 1丁目 33-18	5.00	PC	不明	河川
88	小手指陸橋	4-197	所沢市小手指町 2丁目 2-2	196.90	RC	1979	鉄道
89	219号橋	4-251	小手指町 2丁目 14-22	5.20	PC	不明	河川
90	223号橋	4-253	小手指町 1丁目 36-10	4.80	BOX	不明	河川
91	224号橋	4-256	小手指町 1丁目 44-1	4.80	BOX	不明	河川
92	222号橋	4-260	小手指町 1丁目 32	4.90	BOX	不明	河川

No	橋梁名称	路線 番号	住所	橋長 (m)	橋種	建設 年次	交差 物件
93	220号橋	4-262	小手指町2丁目16-19	5.30	PC	不明	河川
94	216号橋	4-265	小手指町2丁目5-1	5.40	PC	不明	河川
95	217号橋	4-268	小手指町2丁目6-67	5.10	PC	不明	河川
96	218号橋	4-270	小手指町2丁目10-9	5.10	PC	不明	河川
97	215号橋	4-275	小手指町2丁目5-4	5.30	PC	不明	河川
98	305号橋	4-360	北野2丁目17	3.40	BOX	1985	河川
99	538号橋	4-370	北野2丁目21	4.70	RC	不明	河川
100	泉橋	4-381	北野1丁目13-4	5.60	PC	1994	河川
101	209号橋	4-457	三ヶ島3丁目1113-2	2.50	RC	不明	河川
102	208号橋	4-520	三ヶ島3丁目746-6	2.65	RC	1934	河川
103	210号橋	4-529	三ヶ島3丁目1448-1	5.80	RC	不明	河川
104	211号橋	4-534	北野3丁目10-7	6.00	RC	不明	河川
105	206号橋	4-584	三ヶ島3丁目1176	2.24	BOX	不明	河川
106	204号橋	4-598	三ヶ島3丁目1199-2	4.00	RC	不明	河川
107	103号橋	4-707	林1丁目249	3.40	BOX	不明	河川
108	108号橋	4-709	林1丁目250-5	3.00	BOX	不明	河川
109	金井沢橋	4-723	林1丁目325-3	10.97	PC	1989	河川
110	104号橋	4-723	林1丁目357	4.60	BOX	1991	河川
111	109号橋	4-724	林1丁目186-1	4.50	RC	不明	河川
112	105号橋	4-724	林1丁目353-2	4.20	RC	不明	河川
113	110号橋	4-725	林1丁目198-5	4.05	RC	不明	河川
114	539号橋	4-732	林1丁目383	3.90	BOX	不明	河川
115	113号橋	4-739	林2丁目449	6.10	PC	不明	河川
116	112号橋	4-740	林2丁目144-2	5.90	PC	不明	河川
117	114号橋	4-752	林2丁目441-5	6.40	PC	不明	河川
118	新川橋	4-902	西所沢1丁目21-15	5.40	PC	不明	河川
119	107号橋	4-931	林1丁目410-3	4.80	RC	不明	河川
120	214号橋	4-1031	北野新町2丁目8-3	4.20	BOX	1979	河川
121	120号橋	4-1033	林1丁目377-1	3.90	BOX	1990	河川
122	大六天橋	4-1162	上新井3丁目19-2	8.50	PC	2003	河川
123	上新井跨道橋1号	4-1190	上新井5丁目86-1	15.40	BOX	1999	道路
124	上新井跨道橋2号	4-1219	上新井2丁目45	15.40	BOX	1999	道路

No	橋梁名称	路線 番号	住所	橋長 (m)	橋種	建設 年次	交差 物件
125	山下橋	4-1235	上新井3丁目 20- 2	8.50	P C	2005	河川
126	西裏橋	4-1237	上新井2丁目 58- 3	9.50	P C	2002	河川
127	樋ノ坪橋	5-1	久米 1399	15.40	P C	1973	河川
128	児泉橋	5-2	山口 1529- 1	16.80	P C	1972	河川
129	512号橋	5-2	山口 2799- 8	3.00	BOX	不明	河川
130	706号橋	5-4	上山口 364- 2	3.20	R C	不明	河川
131	二瀬橋	5-35	久米 43- 6	16.10	P C	1993	河川
132	共開橋	5-88	久米 1430- 4	20.60	鋼	1977	河川
133	勢揃橋	5-115	久米 1595- 6	11.10	P C	1965	河川
134	勢揃橋歩道橋	5-115	久米 1595- 6	15.66	鋼	1981	河川
135	里橋	5-118	久米 339	12.80	鋼	1967	河川
136	里橋歩道橋	5-118	久米 339	14.00	鋼	2003	河川
137	吾妻橋	5-150	久米 1639- 1	12.60	P C	1966	河川
138	526号橋	5-152	久米 1704- 5	4.50	R C	不明	河川
139	525号橋	5-185	久米 1848	2.80	R C	1968	河川
140	原田橋	5-199	久米 1829- 1	5.55	R C	不明	河川
141	山王橋	5-262	久米 2207	12.10	P C	1949	河川
142	本村橋	5-425	山口 561- 6	10.40	P C	1965	河川
143	地藏橋	5-490	荒幡 671- 2	14.00	鋼	1970	河川
144	泉橋	5-501	山口 574- 1	8.59	鋼	1974	河川
145	413号橋	5-503	山口 1150- 8	5.52	鋼	1965	河川
146	西ヶ谷戸橋	5-517	荒幡 925- 1	9.00	R C	1960	河川
147	神明橋	5-546	荒判 972	9.04	P C	1965	河川
148	515号橋	5-553	山口 2744- 15	5.50	P C	1969	河川
149	桜淵橋	5-558	山口 2744	7.40	R C	1950	河川
150	桜淵橋歩道橋	5-558	山口 2746- 1	10.00	P C	1990	河川
151	513号橋	5-573	山口 2791- 9	2.40	BOX	不明	河川
152	514号橋	5-575	山口 2768- 3	4.17	R C	不明	河川
153	511号橋	5-625	山口 2686- 15	2.94	BOX	不明	河川
154	507号橋	5-715	山口 1947- 1	3.50	BOX	不明	河川
155	判立橋	5-717	山口 1870- 14	9.85	R C	1959	河川
156	新川橋	5-726	上山口 98	7.60	R C	1960	河川

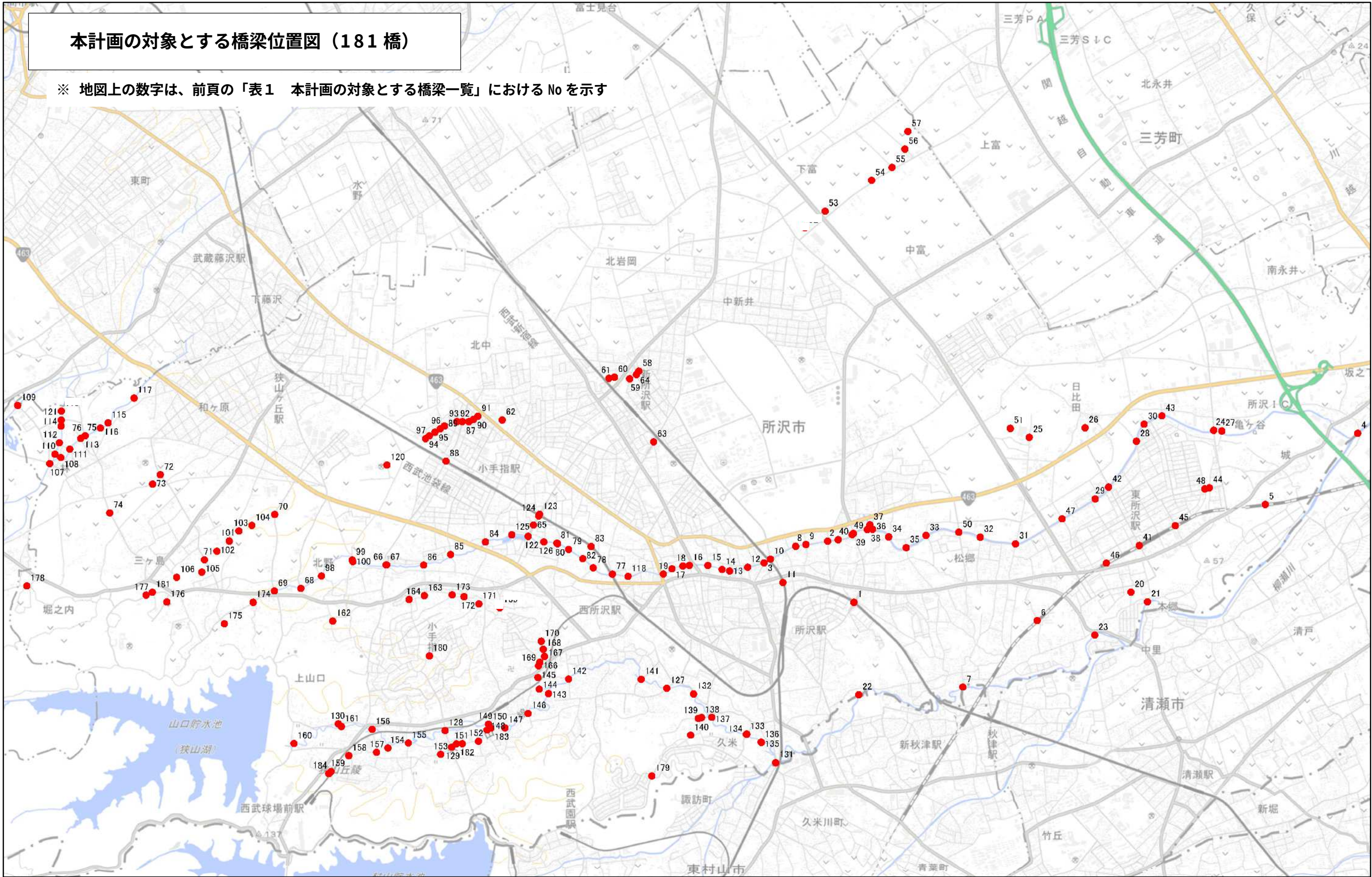
No	橋梁名称	路線 番号	住所	橋長 (m)	橋種	建設 年次	交差 物件
157	旭橋	5-726	山口 1937- 9	4.12	BOX	不明	河川
158	吾庵橋	5-739	上山口 1729- 6	2.30	BOX	不明	河川
159	541号橋	5-754	上山口 2071	2.50	鋼	不明	河川
160	大鐘橋	5-776	上山口 1303	15.20	R C	1930	河川
161	川辺橋	5-800	上山口 365- 1	8.10	鋼	1972	河川
162	みかと橋	5-870	北野南 2 丁目 9- 4	1.80	BOX	不明	河川
163	403号橋	5-912	小手指南 2 丁目 28- 1	4.50	BOX	1985	河川
164	402号橋	5-953	小手指南 2 丁目 29- 1	4.20	BOX	不明	河川
165	407号橋	5-1047	山口 981- 6	4.00	BOX	不明	河川
166	栄橋	5-1064	山口 689- 1	7.60	R C	1970	河川
167	410号橋	5-1083	山口 686- 4	5.35	BOX	不明	河川
168	409号橋	5-1083	山口 1058- 1	4.90	BOX	不明	河川
169	六ッ家橋	5-1086	山口 1146- 22	5.80	BOX	1962	河川
170	408号橋	5-1099	山口 695- 28	4.83	BOX	不明	河川
171	406号橋	5-1139	小手指南 2 丁目 5- 17	5.25	BOX	不明	河川
172	405号橋	5-1147	小手指南 2 丁目 10- 1	3.70	BOX	1985	河川
173	404号橋	5-1149	小手指南 2 丁目 17- 1	4.33	P C	不明	河川
174	302号橋	5-1250	三ヶ島 1 丁目 122- 3	4.13	R C	不明	河川
175	八幡橋	5-1271	三ヶ島 1 丁目 680- 2	1.80	BOX	不明	河川
176	205号橋	5-1377	三ヶ島 2 丁目 671- 6	3.80	BOX	1987	河川
177	201号橋	5-1387	三ヶ島 5 丁目 1276- 2	4.10	BOX	1987	河川
178	116号橋	5-1507	糞谷 120	3.00	R C	1971	河川
179	松が丘陸橋	5-1631	松が丘 2 丁目 3- 1	15.70	P C	1981	道路
180	415号橋	5-1747	山口 1696- 15	2.41	BOX	不明	河川
181	202号橋	5-1823	三ヶ島 5 丁目 1226- 1	3.70	BOX	1987	河川
182	542号橋	5-1997	山口 2790- 11	2.28	BOX	不明	河川
183	544号橋	5-2002	荒幡 996- 59	3.40	BOX	不明	河川
184	541-1 号橋	5-746	上山口 2069- 3	9.60	鋼	不明	河川

※407 号橋は、下水道管理のボックスカルバート（下北野雨水 1 号幹線）として扱うこととなり、橋梁台帳より削除。

※107 号橋は、三ヶ島土地区画整理事業に伴い撤去し、橋梁台帳より削除。

※234 号橋は、砂川堀雨水幹線の施設として扱うこととなった、橋梁台帳より削除。

次頁に、橋梁位置図を示します。



3. 対象施設の現状と健全性

3.1 対象施設の現状

(1) 対象施設の構造種別

対象施設の橋種は、RC橋、PC橋、鋼橋、ボックスカルバート橋があり、そのうちコンクリート橋となるRC橋、PC橋、ボックスカルバート橋が全体の約9割を占めています。

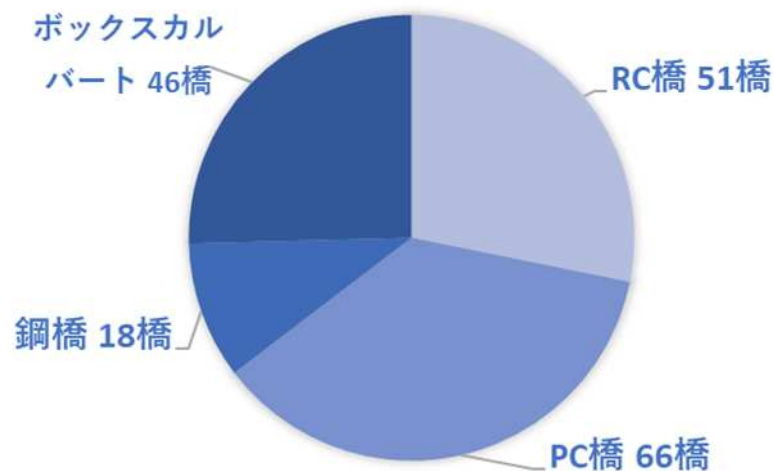


図2 対象施設の構造種別内訳

(2) 対象施設の交差物件

対象施設の交差条件は、鉄道、河川、道路があり、そのうち河川を交差している橋梁が全体の約9割を占めています。

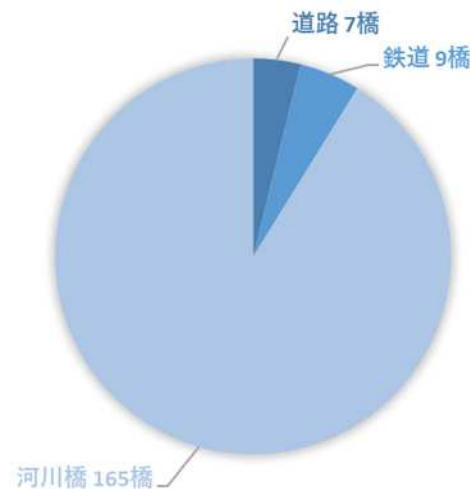


図3 対象施設の交差物件内訳

(3) 対象施設の架替時期

「道路橋の寿命推計に関する調査研究」（平成 16 年 12 月 国土技術政策総合研究所）より、下表に示す橋梁の平均寿命が示されています。

表 2 架設年次ごとの寿命特性

架設年次	平均	標準偏差
1921～1930	40	10
1931～1940	40	10
1941～1950	30	10
1951～1960	60	20
1961～1970	70	20
1971～1980	70	20
1981～1990	100	30
1991～2000	100	30
2000～	100	30

※「道路橋の寿命推計に関する調査研究」p.109 “4.3 更新費用の計算方法”より

表 2 の平均寿命を踏まえると、対象施設のうち平均寿命を超え架替時期を迎えている橋梁および建設年度が不明なため架替時期が不明な橋梁は全体の約 5 割で、30 年後には全体の約 7 割の橋梁が架替時期を迎える可能性があります。

一方で、平均寿命を超えても、適切な管理や補修により、今もなお機能を維持して役割を果たしている橋梁もあります。

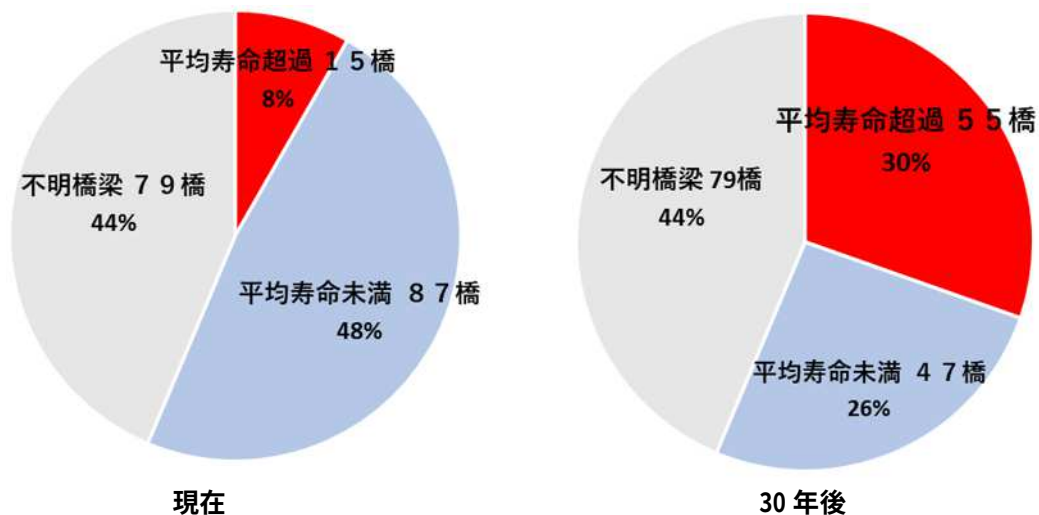


図 4 対象施設の平均寿命に対する経過年数状況

上記のことから、予防保全型管理による長寿命化を実施することで、30 年後には架替費が集中するといった、新たな課題の発生が懸念されます。

3.2 定期点検の実施による損傷状況の把握

対象施設の現状を把握するため、対象施設全橋（181 橋）について近接目視による定期点検を実施しました。

点検は、道路橋定期点検要領（平成 31 年 2 月 国土交通省 道路局）、橋梁定期点検要領（平成 31 年 3 月 国土交通省 道路局 国道・防災課）に基づき実施し、橋梁の各部材に対する損傷の程度を評価し、損傷状況から対策区分の判定までを行っています。

表3 対象とする損傷の種類の種類（1／4）

（橋梁定期点検要領 p.10～13 表-5.1.1 より）

部位・部材区分		注：部位・部材区分の「＊印」は、「主要部材」を示す。 対象とする項目（損傷の種類）		
		鋼	コンクリート	その他
上部構造	* 主桁	①腐食 ②亀裂 ③ゆるみ・脱落	⑥ひびわれ ⑦剥離・鉄筋露出 ⑧漏水・遊離石灰 ⑨抜け落ち	—
	* 主桁ゲルバー部	④破断 ⑤防食機能の劣化 ⑩補修・補強材の損傷	⑩補修・補強材の損傷 ⑪床版ひびわれ	
	* 横桁	⑬遊間の異常 ⑮定着部の異常 ⑯漏水・滞水	⑫うき ⑬遊間の異常 ⑮定着部の異常	
	* 縦桁	⑰異常な音・振動 ⑱異常なたわみ ⑲変形・欠損	⑰変色・劣化 ⑯漏水・滞水 ⑲異常な音・振動 ⑱異常なたわみ ⑲変形・欠損	
	* 床版			
	対傾構			
	横構			
	上横構			
	下横構			
	* 上・下弦材			
	* 斜材、垂直材			
	* 橋門構			
	* 格点			
	* 斜材、垂直材 のコンクリート埋込部			
	* アーチリブ			
	* 補剛桁			
	* 吊り材			
	* 支柱			
	* 橋門構			
	* 格点			
	* 吊り材等のコン クリート埋込部			
	アーチ		⑥ひびわれ ⑦剥離・鉄筋露出 ⑧漏水・遊離石灰 ⑨抜け落ち ⑩補修・補強材の損傷 ⑪床版ひびわれ ⑫うき ⑬遊間の異常 ⑮定着部の異常 ⑰変色・劣化 ⑯漏水・滞水 ⑲異常な音・振動 ⑱異常なたわみ ⑲変形・欠損	
	ラーメン			
	* 主構（桁）			
	* 主構（脚）			
	* 斜材			
	* 塔柱			
	塔部水平材			
	塔部斜材			
	* 外ケーブル			
	* PC定着部	①腐食 ⑤防食機能の劣化 ⑲変形・欠損	⑥ひびわれ ⑦剥離・鉄筋露出 ⑧漏水・遊離石灰 ⑫うき ⑮定着部の異常 ⑰変色・劣化 ⑲変形・欠損	
	その他			

表4 対象とする損傷の種類の種類(2/4)

部位・部材区分			対象とする項目（損傷の種類）		
			鋼	コンクリート	その他
下部構造	* 橋脚	柱部・壁部	①腐食 ②亀裂 ③ゆるみ・脱落	⑥ひびわれ ⑦剥離・鉄筋露出 ⑧漏水・遊離石灰	—
		梁部	④破断 ⑤防食機能の劣化 ⑩補修・補強材の損傷 ⑯漏水・滞水	⑩補修・補強材の損傷 ⑫うき ⑬定着部の異常 ⑭変色・劣化 ⑯漏水・滞水	
		隅角部・接合部	⑪異常な音・振動 ⑫異常なたわみ ⑬変形・欠損	⑪異常な音・振動 ⑫異常なたわみ ⑬変形・欠損	
		胸壁	—	⑪異常な音・振動 ⑫異常なたわみ ⑬変形・欠損	
	縦壁				
	翼壁				
	* 橋台				
	* 基礎		①腐食 ②亀裂 ⑤防食機能の劣化 ⑮沈下・移動・傾斜 ⑯洗掘	⑥ひびわれ ⑦剥離・鉄筋露出 ⑮沈下・移動・傾斜 ⑯洗掘	
その他					
支承部	支承本体		①腐食 ②亀裂 ③ゆるみ・脱落 ④破断 ⑤防食機能の劣化 ⑬遊間の異常 ⑭支承部の機能障害 ⑯漏水・滞水 ⑪異常な音・振動 ⑫変形・欠損 ⑬土砂詰り ⑮沈下・移動・傾斜	—	④破断 ⑬遊間の異常 ⑭支承部の機能障害 ⑯変色・劣化 ⑯漏水・滞水 ⑪異常な音・振動 ⑫変形・欠損 ⑬土砂詰まり
	アンカーボルト		①腐食 ②亀裂 ③ゆるみ・脱落 ④破断 ⑤防食機能の劣化 ⑬変形・欠損	—	—
	落橋防止システム		①腐食 ②亀裂 ③ゆるみ・脱落 ④破断 ⑤防食機能の劣化 ⑬遊間の異常 ⑪異常な音・振動 ⑫異常なたわみ ⑬変形・欠損	⑥ひびわれ ⑦剥離・鉄筋露出 ⑧漏水・遊離石灰 ⑫うき ⑬遊間の異常 ⑭変色・劣化 ⑬変形・欠損 ⑬土砂詰まり	—
	沓座モルタル		—	⑥ひびわれ ⑦剥離・鉄筋露出 ⑫うき ⑯漏水・滞水 ⑬変形・欠損	—
	台座コンクリート				
	その他				

表5 対象とする損傷の種類標準 (3 / 4)

部位・部材区分		対象とする項目(損傷の種類)		
		鋼	コンクリート	その他
路上	高欄	①腐食 ②亀裂	⑥ひびわれ ⑦剥離・鉄筋露出	—
	防護柵	③ゆるみ・脱落 ④破断	⑧漏水・遊離石灰 ⑩補修・補強材の損傷	—
	地覆	⑤防食機能の劣化 ⑩補修・補強材の損傷	⑫うき ⑲変色・劣化	—
	中央分離帯	⑲変形・欠損	⑲変色・劣化 ⑲変形・欠損	—
	伸縮装置 (後打ちコンクリートを含む。)	①腐食 ②亀裂 ③ゆるみ・脱落 ④破断 ⑤防食機能の劣化 ⑬遊間の異常 ⑭路面の凹凸 ⑳漏水・滞水 ㉑異常な音・振動 ㉒変形・欠損 ㉓土砂詰まり	⑥ひびわれ ⑫うき ㉑異常な音・振動 ㉒変形・欠損	⑬遊間の異常 ⑭路面の凹凸 ⑲変色・劣化 ⑳漏水・滞水 ㉑異常な音・振動 ㉒変形・欠損 ㉓土砂詰まり
	遮音施設 照明施設 標識施設	①腐食 ②亀裂 ③ゆるみ・脱落 ④破断 ⑤防食機能の劣化 ⑲変色・劣化 ㉒変形・欠損	—	③ゆるみ・脱落 ⑲変色・劣化 ㉒変形・欠損
	縁石	—	⑥ひびわれ ⑦剥離・鉄筋露出 ⑧漏水・遊離石灰 ⑫うき ⑲変色・劣化 ㉒変形・欠損	—
排水施設	舗装 (橋台背面アプローチ部を含む。)	—	⑭路面の凹凸 ⑮舗装の異常 ㉓土砂詰まり	⑭路面の凹凸 ⑮舗装の異常 ㉓土砂詰まり
	排水ます	①腐食 ④破断 ⑤防食機能の劣化	—	④破断 ⑲変色・劣化 ⑳漏水・滞水 ㉒変形・欠損 ㉓土砂詰まり
	排水管	⑲変色・劣化 ⑳漏水・滞水 ㉒変形・欠損 ㉓土砂詰まり	—	④破断 ⑲変色・劣化 ⑳漏水・滞水 ㉒変形・欠損 ㉓土砂詰まり
	その他	—	—	—
点検施設		①腐食 ②亀裂 ③ゆるみ・脱落 ④破断	—	①腐食 ②亀裂 ③ゆるみ・脱落 ④破断
添架物		⑤防食機能の劣化 ㉑異常な音・振動 ㉒異常なたわみ ㉒変形・欠損	—	⑤防食機能の劣化 ㉑異常な音・振動 ㉒異常なたわみ ㉒変形・欠損
袖擁壁		—	⑥ひびわれ ⑦剥離・鉄筋露出 ⑧漏水・遊離石灰 ⑲変色・劣化 ㉒変形・欠損 ㉓沈下・移動・傾斜	—

表6 対象とする損傷の種類標準（4／4）

部位・部材区分		対象とする項目（損傷の種類）	
		コンクリート	その他
溝橋（ボックスカルバート） ※活荷重による影響が小さい剛性 ボックス構造で、第三者被害の恐れ がないもの	*頂版	⑥ひびわれ ⑪床版ひびわれ ⑰その他 ・鉄筋の露出・腐食 ・漏水・遊離石灰	
	*側壁 *底版 隔壁 その他	⑥ひびわれ ⑰その他 ・鉄筋の露出・腐食 ・漏水・遊離石灰	
翼壁			
周辺地盤			㉕不同沈下 ⑰吸い出し
その他	路上		⑮舗装の異常
	その他		

部位・部材区分			対象とする項目（損傷の種類）	
			鋼	コンクリート
H形鋼桁橋 ※熱間圧延で製造され た形鋼で、現場溶接継 手やボルト継手がない もの	上部構造	*主桁	①腐食	⑪床版ひびわれ
		*床版		
	支承部	支承本体	⑯支承部の機能障害	
その他				

部位・部材区分			対象とする項目（損傷の種類）	
			コンクリート	その他
RC床版橋 ※単純橋で充実断面を 有するもの	上部構造	*主桁	⑥ひびわれ ⑪床版ひびわれ ⑫うき ⑰その他 ・鉄筋の露出・腐食 ・漏水・遊離石灰	
	支承部	支承本体	⑯支承部の機能障害	
その他				

表7 状態の把握の標準的な方法
(橋梁定期点検要領 p.14 表-5.2.2 より)

材 料	番 号	損傷の種類	点検の標準的方法	必要や目的に応じて採用することのできる方法の例
鋼	①	腐食	目視, ノギス, 点検ハンマー	超音波板厚計による板厚計測
	②	亀裂	目視	磁粉探傷試験, 超音波探傷試験, 渦流探傷試験, 浸透探傷試験
	③	ゆるみ・脱落	目視, 点検ハンマー	ボルトヘッドマークの確認, 打音検査 超音波探傷(FIT等), 軸力計を使用した調査
	④	破断	目視, 点検ハンマー	打音検査(ボルト)
	⑤	防食機能の劣化	目視	写真撮影(画像解析による調査) インピーダンス測定, 膜厚測定, 付着性試験
コン クリ ート	⑥	ひびわれ	目視, クラックゲージ	写真撮影(画像解析による調査)
	⑦	剥離・鉄筋露出	目視, 点検ハンマー	写真撮影(画像解析による調査), 打音検査
	⑧	漏水・遊離石灰	目視	
	⑨	抜け落ち	目視	—
	⑪	床版ひびわれ	目視, クラックゲージ	写真撮影(画像解析による調査)
	⑫	うき	目視, 点検ハンマー	打音検査, 赤外線調査
そ の 他	⑬	遊間の異常	目視, コンベックス	—
	⑭	路面の凹凸	目視, コンベックス, ホール	—
	⑮	舗装の異常	目視, コンベックス又はクラックゲージ	—
	⑯	支承部の機能障害	目視	移動量測定
	⑰	その他		—
共 通	⑩	補修・補強材の損傷	目視, 点検ハンマー	打音検査, 赤外線調査
	⑱	定着部の異常	目視, 点検ハンマー, クラックゲージ	打音検査, 赤外線調査
	⑲	変色・劣化	目視	—
	㉑	漏水・滞水	目視	赤外線調査
	㉒	異常な音・振動	聴覚, 目視	—
	㉓	異常なたわみ	目視	測量
	㉔	変形・欠損	目視, 水系, コンベックス	—
	㉕	土砂詰まり	目視	—
	㉖	沈下・移動・傾斜	目視, 水系, コンベックス	測量
	㉗	洗掘	目視, ホール	カラーイメージングソナー, 水中カメラ

注: 写真撮影は、カメラ、ビデオ等のデジタル撮影機器により行う。

表8 対策区分の判定区分
(橋梁定期点検要領 p.21 表-6.1.1 より)

判定区分	判定の内容
A	損傷が認められないか，損傷が軽微で補修を行う必要がない。
B	状況に応じて補修を行う必要がある。
C 1	予防保全の観点から，速やかに補修等を行う必要がある。
C 2	橋梁構造の安全性の観点から，速やかに補修等を行う必要がある。
E 1	橋梁構造の安全性の観点から，緊急対応の必要がある。
E 2	その他，緊急対応の必要がある。
M	維持工事で対応する必要がある。
S 1	詳細調査の必要がある。
S 2	追跡調査の必要がある。

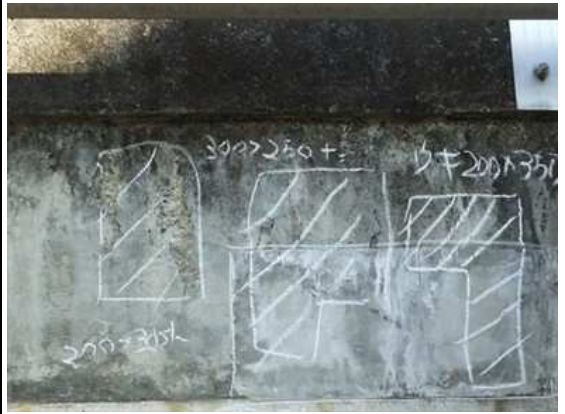
3.3 対象施設の点検結果

定期点検の結果、各橋梁において腐食やひび割れ、剥離・鉄筋の露出など、主要部材および主要部材以外において損傷が見られ、施設全体的に老朽化が進行している状況であることが確認されました。

表9 対象施設の損傷状況（1／2）

腐食	変形・欠損
	
ひびわれ	床版ひびわれ
	
漏水・遊離石灰	隔離・鉄筋露出
	

表10 対象施設の損傷状況 (2 / 2)

うき	変形・欠損
	
支障部の機能障害	ゆるみ・脱落
	
亀裂	
	

3.4 健全性の評価

各橋梁で確認された損傷状況や部材単位の健全性を総合的に評価し、現状における橋梁毎の健全性を評価しました。

健全性は、表 8 に示す判定区分に基づき評価しています。

表 1 1 対象施設の健全性評価における判定区分
(橋梁定期点検要領 p.27 表-7.1 より)

区分		定義
I	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

対象施設における現状(令和 5 年度末)の健全性の評価結果は以下のとおりです。

表 1 2 対象施設の健全性の内訳 (全 181 橋)

橋種 \ 健全度	I (健全)	II (予防保全)	III (早期措置)	IV (緊急措置)
RC 橋	16 橋	34 橋	2 橋	0 橋
PC 橋	49 橋	17 橋	0 橋	0 橋
BOX カルバート橋	22 橋	23 橋	1 橋	0 橋
鋼橋	2 橋	11 橋	4 橋	0 橋
小計	89 橋	85 橋	7 橋	0 橋
比率	49%	47.0%	4%	0.0%

※二巡目(令和 3～5 年度)の法定点検結果に基づく健全性の評価を反映した。

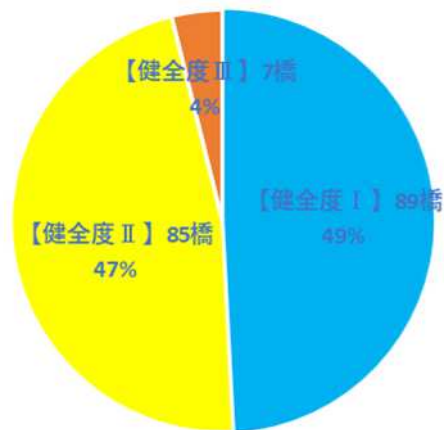


図5 対象施設の健全性の内訳

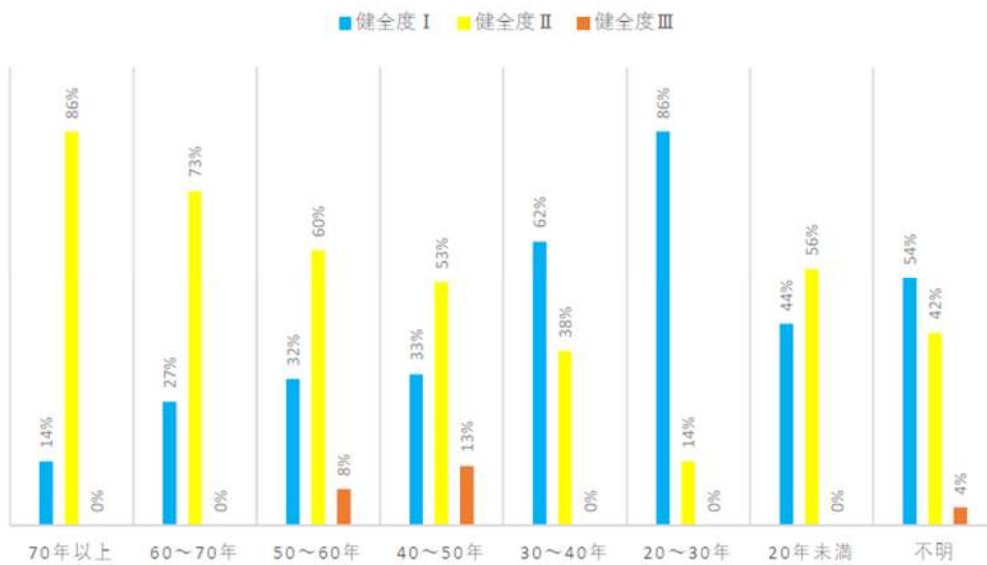


図6 経過年度毎の健全性の内訳

4. 長寿命化修繕計画における基本方針

4.1 長寿命化に向けた維持管理の基本的な考え方

橋梁の損傷が深刻化した場合、大規模な修繕や架替が必要となり、修繕費が高くなるうえ、結果として橋梁の寿命が短くなるほか、補修にあたっては長期間の通行止め等の交通規制が発生し、道路利用者に多大な影響を与えます。

そのため、損傷が深刻化する前に修繕を行う予防保全の維持管理手法を採用することを基本とし、橋梁の長寿命化を図って架替時期の延伸と将来も見据えた総合的な維持管理コストの縮減を目指します。

一方で、構造上の問題や周辺環境の条件等から補修が困難な橋梁や、橋長が短くかつ建設年度が不明で延命化の効果が評価できない橋梁など、予防保全を行っても長寿命化やコスト縮減効果が期待できない橋梁については、事後保全の維持管理手法を継続し、可能な限り使い続けたうえ、将来的な維持管理も見据えた構造変更による架替を行います。

上記のような予防保全と事後保全を組み合わせた計画的な修繕・架替計画により、橋梁にかかる修繕費用の長期的な平準化を図ります。

長寿命化修繕計画の管理シナリオ

管理種別	対象施設	基本方針
事後保全型管理	・ 補修が困難な橋梁 ・ 橋長 15m未満かつ建設年度が不明な橋梁など	対症療法として、損傷が著しい状況となった時点で補修を検討、もしくは安全性が確保できなくなる直前に架替を実施
予防保全型管理	・ 上記以外の橋梁	予防保全段階で補修することを基本として、橋梁を長寿命化し、架替時期の延伸とコスト縮減を図る

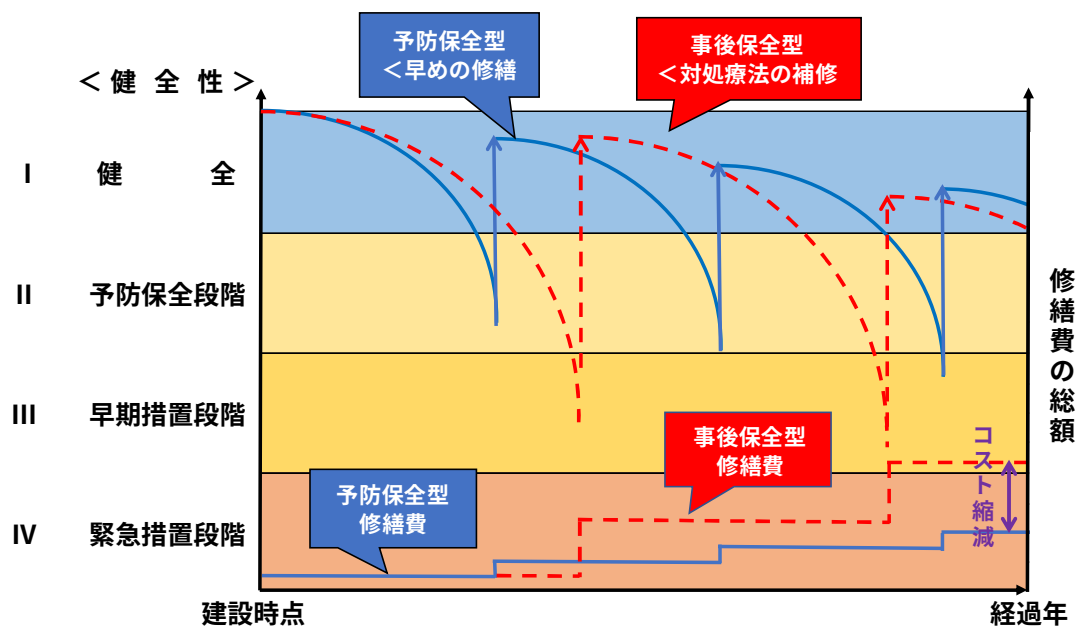


図7 予防保全と事後保全の維持管理イメージ

4.2 定期点検の実施による健全性の把握

対象施設となる181橋の橋梁について、日常のパトロール車による巡回点検と、5年に1度、近接目視による定期点検を実施することで、損傷の状況や劣化の進行等を確認し、健全性の把握に努めます。

これにより、予防保全型管理に位置づく橋梁については損傷が大きくなる前に修繕を行い、事後保全型管理に位置づく橋梁については経過観察による安全性の確保を行います。



図8 橋梁の定期点検の実施状況

4.3 修繕の基本的な実施方針

(1) 予防保全型管理

『予防保全型管理』に位置づく橋梁では、損傷が深刻化する前に補修することで、施設の長寿命化およびコスト縮減を図ることを目的とし、橋梁の健全性評価が“判定区分Ⅱ”となった時点で補修を実施することを基本とします。

ただし、主要部材以外の部位における損傷のみを要因として健全性が“判定区分Ⅱ”となっている橋梁については、対象部位における安全性を確認のうえ、維持工事による解消可能性や経過観察による対応を基本に検討し、修繕の効率性やコスト縮減の観点から、主要部材が“判定区分Ⅱ”となった時点で合わせて修繕することを基本とします。

また橋上の舗装については、舗装の点検や修繕計画を確認のうえ、連携を図りながら修繕を行います。

表 1.3 予防保全型管理における修繕の基本的な実施方針

判定区分			修繕の実施方針
I	健全		修繕の対象外 構造物の機能に支障が生じていない状態であり、修繕の対象外
II	予防保全段階	主要部材以外での損傷	経過観察 対象部位の損傷の安全性を確認のうえ、維持工事や経過観察により対応 ⇒安全性が確保できない場合には、損傷部位のみを対象とした修繕を実施 ⇒基本的には対象橋梁の主要部材も“判定区分Ⅱ”となった時点で総合的な修繕を実施 ⇒舗装については舗装点検・修繕計画を踏まえて修繕を検討
		主要部材での損傷	修繕の実施 次回点検までに予防保全を目的とした修繕を実施
III	早期措置段階		修繕の実施 早期に機能回復を目的とした修繕を実施
IV	緊急措置段階		緊急対策の実施 即時に機能回復を目的とした修繕を実施

【修繕事例】

・松戸橋



図9 H30 洗堀防止工



図10 R3 橋面補修工

・新川（シカ）橋



図11 H31 断面修復工



図12 H31 橋面補修工、防護柵塗替え工

(2) 事後保全型管理

『事後保全型管理』に位置づく橋梁では、対症療法として、損傷が著しい状況となった時点で補修を検討、もしくは安全性が確保できなくなる直前に架替を実施損傷が深刻化する前に補修することを基本とします。

なお、補修が困難であるとともに、橋梁15m未満かつ建設年度が不明な橋梁で、橋種が鋼橋の橋梁については、将来的な維持管理およびコスト縮減の観点から、架替を基本とするとともに、維持管理の面で効率的なボックスカルバート橋への構造変更を検討します。

表 1-4 事後保全型管理における修繕の基本的な実施方針

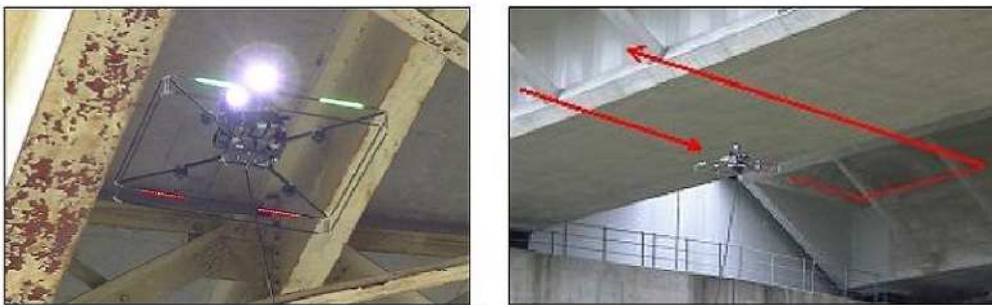
ケース	対象施設	基本的な実施方針
1	- 補修が困難な橋梁 - 橋長 15m未満かつ建設年度が不明な橋梁	対症療法として、損傷が著しい状況となった時点で補修を検討、もしくは安全性が確保できなくなる直前に架替を実施
2	補修が困難で橋長 15m未満かつ建設年度が不明な鋼橋	安全性が確保できなくなる直前に架替等を検討 架替時にはボックスカルバート橋への構造変更を検討

ケース 2 に該当する架替等を検討する鋼橋

橋梁名称	路線番号	住所	橋長(m)	橋種	建設年次	交差物件
319号橋	1-659	金山町 20-9	10.20	鋼	不明	河川
239号橋	3-170	下富 475-1	10.20	鋼	不明	河川
307号歩道橋	4-2	小手指元町 3 丁目 22-39	6.54	鋼	不明	河川
541号橋	5-754	上山口 2071	2.50	鋼	不明	河川
541-1号橋	5-746	上山口 2069- 3	9.60	鋼	不明	河川

4.4 新技術の活用方針

今後の点検・補修等に関して、橋梁の効率的、経済的な維持管理を可能とする新技術の活用を検討していきます。検討する技術は、新技術情報提供システム及び点検支援技術性能カタログ等を参照し、従来工法等と比較評価のうえ、コスト縮減効果等が期待される場合には積極的に活用し、令和15年度までに約200万円のコスト縮減を目指します。



出典：国土交通省，「点検支援技術カタログ（橋梁・トンネル）」，P2-1-17，R4.9

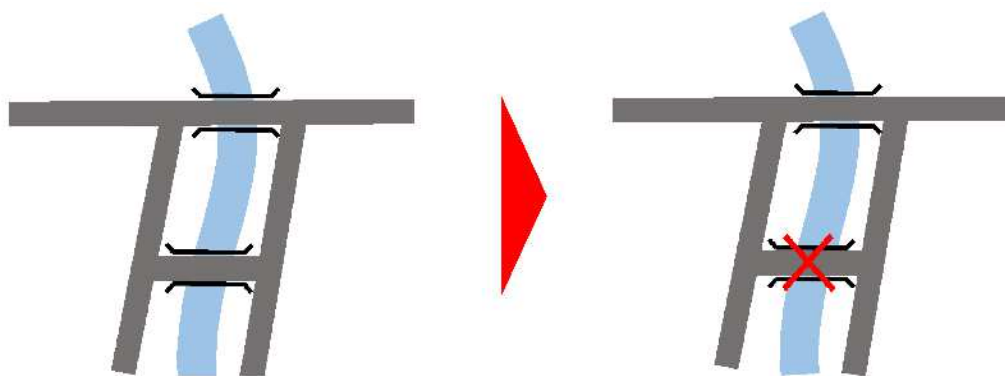
図13 新技術活用例（ドローン技術の採用）

- ・新技術情報提供システム（NETIS）
<https://www.netis.mlit.go.jp/netis/>
- ・国土交通省「点検支援技術性能カタログ（案）」
<https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/inspection-support/>

4.5 費用縮減に関する方針

利用頻度の低い橋梁や、鉄道等の交差物件の影響により点検・補修において、その維持管理費用が多額となる橋梁については、費用対効果や地域要望を確認のうえ、撤去・集約化を検討することで、費用縮減を検討していきます。

所沢市での短期的な目標として、利用頻度が低く老朽化が著しい「むつみ橋(西武鉄道跨線橋)」について、令和15年度までに廃止(撤去)を実施することで、将来的な橋梁点検費・修繕工事費が削減できることとなり、廃止(撤去)後の10年間で約1,000万円のコスト縮減を目指します。



出典：国土交通省，「道路橋の集約・撤去事例集」，P13，R4.3

図14 橋梁集約化例

4.6 修繕の優先度に関する考え方

修繕の優先順位は、点検結果に基づく“施設の健全性”のほか、施設の重要度や第三者への影響度等を総合的に判断して設定します。

優先順位を決定するための評価指標は以下の通りです。

① 健全性

架替が必要となる橋梁および判定区分Ⅲの橋梁を最優先として修繕を実施します。

主要部材の損傷を要因とした判定区分Ⅱの橋梁については、以下の②～の総合評価により優先順位を決定します。

② 緊急輸送道路

所沢市における災害時道路ネットワークの確保を目的として、緊急輸送道路に位置づく橋梁について優先的に評価します。

③ 交差条件

老朽化によるコンクリートの剥落やボルトの落下等による第三者被害の影響性を考慮し、鉄道や道路を跨ぐ橋梁について優先的に評価します。

④ バス路線

老朽化により通行止めとなった場合に、地域における公共交通サービスへの影響度を考慮し、バス路線に位置づく橋梁について優先的に評価します。

⑤ 車線数

老朽化により通行止めとなった場合の道路利用者への影響度や、通過車両の繰り返し荷重による損傷の進行性を考慮し、車線数が多い橋梁について優先的に評価します。

⑥ 構造形式

落橋や深刻な損傷による第三者被害を考慮し、溝橋以外の橋梁を優先的に評価します。

⑦ 建設年度

建設年度が古い橋梁ほど、老朽化が進んでいることが予想されるため、建設年度が古い橋梁（建設年度の不明橋梁含む）について優先的に評価します。

⑧ 橋梁規模

長大橋は損傷が深刻化した場合、修繕費用が高く、工事による規制期間も長くなることが予想されることから、早期に修繕を行うことを目的として、規模が大きい橋梁について優先的に評価します。

4.7 長寿命化に向けた日常的な維持管理の基本方針

(1) 日常的な維持修繕の実施

橋梁の長寿命化にあたっては、日常管理の取組も重要であることから、巡回点検や定期点検等により把握した状況等を踏まえ適切に対応していきます。

- 経過観察の橋梁を中心とした巡回点検や定期点検の実施
- 小規模な断面欠損や舗装の修繕（舗装は舗装修繕計画と連携）
- 排水柵の土砂詰まりや沓座の土砂溜まりの除去等、清掃による漏水・滞水の未然防止(適時)

(2) 災害時の対応

地震等の災害が発生した場合には、緊急点検を実施したうえ、橋梁の健全性を確認し、損傷が深刻な場合には早期の修繕に努めます。

5. 長寿命化修繕計画による効果

長寿命化修繕計画に基づく修繕を実施する事で、以下の効果が期待されます。

(1) 健全度の向上

定期的な点検を実施し、現状を把握しながら適切な修繕工事を計画的に実施することで、施設の健全性が維持され、道路ネットワークの安全性と信頼性が確保されます。

(2) 予算の平準化

修繕に係わる費用を予測して、予算平準化を図った修繕計画を策定することで、計画的な修繕が可能となります。

(3) コストの縮減

予防保全と事後保全を組み合わせた計画的な修繕・架替計画により、効果的な維持管理が実現され、維持管理コストの縮減が期待されます。

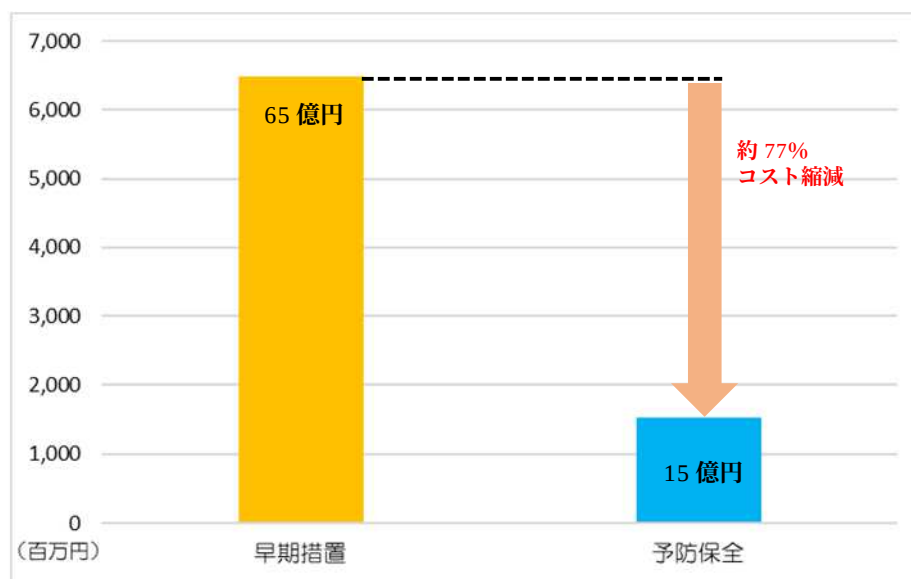


図 1 5 長寿命化修繕計画によるコスト縮減効果（試算）

(4) 環境負荷の低減

施設の長寿命化により、工事に伴う建設廃棄物や CO2 の発生量が抑制され、地球環境への負荷低減に寄与します。

6. 今後5年間の修繕計画

定期点検の結果、早期に措置を講ずべき橋梁（判定区分Ⅲ）と判断された319号橋については、事後保全に位置づく橋梁であるが、令和5年度に一旦補修工事を実施した後、当面修繕は行わずに、経過観察による安全性を確認しながら、安全性が確保できなくなる直前において、ボックスカルバート橋への架替を検討します。

他に早期に措置を講ずべき橋梁と判断された天明橋、316号橋、地藏橋、勢揃橋歩道橋、413号橋、小手指陸橋については、令和6・7年度に補修設計を実施し（小手指陸橋は補修設計済み）、その翌年以降の令和7～10年度に補修工事を完了する計画とします。

予防保全を目的として修繕を実施すべき橋梁（判定区分Ⅱ）と判断された橋梁については、既に補修設計が完了している松井橋、牛沼橋の補修工事を令和6年度に工事を実施し、令和7年度から、その他の橋梁について損傷状況や優先度の考え方などから総合的に判断して、修繕を優先すべき橋梁より予算平準化による計画的な予防保全対策を進めていきます。

以下に、今後5年間の修繕計画を示します。

表15 今後5年間における修繕計画

橋梁名称	橋長 (m)	橋種	架設 年度	点検結果	補修設計 予定年度	補修工事 予定年度
319号橋	10.20	鋼	不明	Ⅲ判定	補修設計済み	R5年度
松井橋	7.40	RC	1959	Ⅱ判定	補修設計済み	R6年度
牛沼橋	12.30	PC	1958	Ⅱ判定	補修設計済み	R6年度
天明橋	2.50	BOX	不明	Ⅲ判定	補修設計済み	R7年度
316号橋	4.50	RC	不明	Ⅲ判定	補修設計済み	R7年度
地藏橋	14.00	鋼	1970	Ⅲ判定	補修設計済み	R8年度
勢揃橋歩道橋	15.66	鋼	1981	Ⅲ判定	補修設計済み	R9年度
413号橋	5.52	鋼	1965	Ⅲ判定	補修設計済み	R8年度
小手指陸橋	196.90	RC	1979	Ⅲ判定	R8年度	R9年度～
大六天橋	8.50	PC	2003	Ⅱ判定	R8年度	R9年度

7. 個別の構造物ごとの事項

本計画に基づき、施設対象となる 181 橋について、各橋梁個別の 1) 構造物の諸元、2) 直近における点検結果及び次回点検時期、3) 対策内容、4) 対策の着手・完了予定年度、5) 対策に係る全体概算事業費を整理した一覧表を次頁以降に示します。

【個別の構造物ごとの事項】

No.	構造物の諸元								直近における点検結果				次回 定期点検 実施予定 年度	対策計画			
	路線番号	橋梁名		架設年次 (西暦)	経過 年数	幅員 (m)	橋長 (m)	構造 形式	実施 年度	健全性				対策内容	対策の着手	完了 予定年度	全体概算 事業費 (千円)
			フリガナ							健全性	主要部材	主要部材外					
1	1-1	所沢陸橋	トコサヅ フリツキョウ	1973	53	10.20	121.35	R C	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R10	予防修繕	2030	2032～	8,137
2	1-3	松井橋	マツイバシ	1959	67	16.50	7.40	R C	R4	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R9	予防修繕	補修設計済み	2024	35,921
3	1-4	旭橋	アサハシ	1930	96	11.98	10.20	R C	R4	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	R9	経過観察※1			
4	1-900	清柳橋	セイリウバシ	2025	1	10.50	38.80	鋼	-	-	-	-	R9				
5	1-65	6 1 1号橋	611ゴ ウキヨウ	1972	54	6.80	17.70	R C	R4	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R9	予防修繕	2029	2030	6,712
6	1-265	6 0 6号橋	606ゴ ウキヨウ	1972	54	6.65	15.45	R C	R3	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ (M)	R8	予防修繕	2029	2030	4,169
7	1-365	松戸橋	マツトバシ	1960	66	6.11	18.70	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	R9	経過観察			
8	1-489	宮前橋	ミヤマバシ	1987	39	6.55	8.10	R C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	R9	経過観察			
9	1-491	千歳橋	チセイバシ	1962	64	5.50	6.50	P C	R4	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R9	予防修繕	2036	2037	3,446
10	1-500	3 2 9号橋	329ゴ ウキヨウ	不明	不明	9.83	8.00	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R9	経過観察			
11	1-512	むつみ橋	ムツミバシ	1968	58	1.42	17.50	R C	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R10	廃止(撤去)	2030	2032	90,000
12	1-632	鳥居橋	トリイバシ	1924	102	4.95	3.70	R C	R4	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R9	予防修繕	2035	2036	4,176
13	1-645	三浦橋	ミウラバシ	1926	100	3.09	4.85	R C	R4	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R9	予防修繕	2035	2036	3,346
14	1-646	境橋	サカイバシ	1962	64	4.40	5.25	R C	R4	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	R9	予防修繕	2036	2037	2,723
15	1-651	琴平橋	コトハラバシ	2009	17	12.80	5.50	R C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R9	経過観察			
16	1-657	3 2 1号橋	321ゴ ウキヨウ	不明	不明	2.95	3.30	R C	R4	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ (M)	R9	予防修繕	2035	2036	2,723
17	1-659	3 1 9号橋	319ゴ ウキヨウ	不明	不明	1.90	10.20	鋼	R4	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	R9	早期修繕	補修設計済み	2023	21,800
18	1-659	3 2 0号橋	320ゴ ウキヨウ	不明	不明	3.25	3.30	R C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	R9	経過観察			
19	1-672	3 1 8号橋	318ゴ ウキヨウ	不明	不明	10.00	6.50	BOX	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	R9	経過観察			
20	1-892	清流かわせみ橋	セイリュウカワセミバシ	2020	6	9.00	18.10	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R9	経過観察			
21	1-733	7 0 4号橋	704ゴ ウキヨウ	不明	不明	5.00	8.60	P C	R4	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R9	予防修繕			
22	1-846	松柳橋	ショリウバシ	1995	31	3.30	44.10	鋼	R4	Ⅱ	Ⅱ (M)	Ⅱ	R9	維持工事			
23	1-873	とんぼ橋	トンボバシ	2008	18	5.20	19.47	P C	R4	Ⅱ	Ⅱ (M)	Ⅱ (M)	R9	維持工事			
24	2-2	柳瀬橋	ヤナセバシ	1988	38	16.80	17.70	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R9	経過観察			
25	2-225	2 4 7号橋	247ゴ ウキヨウ	不明	不明	11.75	3.50	BOX	R4	Ⅱ	Ⅱ (M)	Ⅰ	R9	維持工事			
26	2-240	5 4 3号橋	543ゴ ウキヨウ	不明	不明	4.50	2.70	BOX	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R9	経過観察			
27	2-479	にこにこ橋	ニコニコバシ	1985	41	6.20	20.50	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R9	経過観察			
28	2-540	日比田橋	ヒビタバシ	1992	34	7.20	13.40	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R9	経過観察			
29	2-553	松郷工業橋	マツゴ ウコウギョウバシ	1982	44	8.80	15.40	P C	R4	Ⅱ	Ⅱ (M)	Ⅱ (M)	R9	維持工事			
30	2-571	3 5 0号橋	350ゴ ウキヨウ	不明	不明	7.95	3.90	BOX	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	R9	経過観察			
31	2-732	弘法橋	コウホウバシ	1999	27	10.07	15.70	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	R9	経過観察			
32	2-765	川端橋	カワハタバシ	1973	53	2.30	20.70	鋼	R4	Ⅱ	Ⅱ (M)	Ⅱ	R9	維持工事			
33	2-780	長栄橋	チヨウエイバシ	2002	24	8.00	14.30	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R9	経過観察			
34	2-807	加美橋	カミバシ	2002	24	8.00	14.30	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R9	経過観察			
35	2-818	中橋	ナカバシ	2001	25	10.00	15.10	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R9	経過観察			
36	2-819	牛沼橋	ウシヌマバシ	1958	68	4.60	12.30	P C	R4	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R9	予防修繕	補修設計済み	2024	15,490
37	2-820	3 4 0号橋	340ゴ ウキヨウ	不明	不明	2.95	5.70	R C	R4	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R9	予防修繕	2035	2036	4,570
38	2-820	境橋	サカイバシ	1958	68	3.49	6.60	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R9	経過観察			
39	2-822	東橋	アズマバシ	1959	67	3.50	6.55	P C	R4	Ⅱ	Ⅱ (M)	Ⅱ	R9	維持工事			
40	2-838	学校橋	ガクウバシ	2015	11	8.20	7.64	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	R9	経過観察			
41	2-869	6 0 9号橋	609ゴ ウキヨウ	1972	54	18.35	35.12	R C	R3	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ (M)	R8	予防修繕	2026	2027	7,408

【個別の構造物ごとの事項】

No.	構造物の諸元							直近における点検結果					次回 定期点検 実施予定 年度	対策計画			
	路線番号	橋梁名	架設年次 (西暦)	経過 年数	幅員 (m)	橋長 (m)	構造 形式	実施 年度	健全性			対策内容		対策の着手	完了 予定年度	全体概算 事業費 (千円)	
									健全性	主要部材	主要部材外						
42	2-869	新日比田橋	1986	40	18.80	16.80	P C	R4	Ⅱ	Ⅱ (M)	Ⅱ (M)	R9	維持工事				
43	2-870	稲荷橋	1992	34	7.20	15.66	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	R9	経過観察				
44	2-886	本郷架道橋 1	1972	54	6.05	18.20	R C	R4	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	R9	予防修繕	2029	2030	17,073	
45	2-911	6 1 0 号橋	1972	54	8.75	34.80	R C	R4	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R9	予防修繕	2028	2029	7,994	
46	2-990	6 0 8 号橋	1972	54	6.70	26.30	R C	R4	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R9	予防修繕	2028	2029	10,341	
47	2-996	松郷橋	1998	28	10.00	15.30	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R9	経過観察				
48	2-1010	本郷架道橋 2	1972	54	6.20	18.70	R C	R4	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R9	予防修繕	2030	2031	17,783	
49	2-1098	新東橋	1987	39	16.80	16.05	P C	R4	Ⅱ	Ⅱ (M)	Ⅱ	R9	維持工事				
50	2-1103	あけぼの橋	2005	21	16.80	15.80	P C	R4	Ⅱ	Ⅱ (M)	Ⅱ (M)	R9	維持工事				
51	2-1157	2 4 8 号橋	不明	不明	7.26	3.50	BOX	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	R9	経過観察				
52	3-170	2 3 9 号橋	不明	不明	2.50	10.20	鋼	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R9	経過観察	ボックスカルバート化を検討			
53	3-182	駿河台 4 号橋	1979	47	5.00	13.16	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R9	経過観察				
54	3-187	駿河台 3 号橋	1979	47	5.00	13.17	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R9	経過観察				
55	3-192	所沢 2 号橋	1984	42	5.20	14.80	P C	R4	Ⅱ	Ⅱ (M)	Ⅱ (M)	R9	維持工事				
56	3-196	所沢 1 号橋	1984	42	5.20	17.66	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R9	経過観察				
57	3-501	2 3 0 号橋	不明	不明	1.93	4.80	R C	R4	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ (M)	R9	予防修繕	2040	2041	2,723	
58	3-507	2 2 9 号橋	不明	不明	9.75	3.82	P C	R4	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ (M)	R9	予防修繕	2031	2032	2,995	
59	3-516	2 2 8 号橋	1977	49	2.80	5.06	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	R9	経過観察				
60	3-524	2 2 7 号橋	1977	49	2.80	5.06	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R9	経過観察				
61	3-625	2 2 5 号橋	不明	不明	3.50	5.02	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R9	経過観察				
62	3-723	新所沢跨道橋 1 号橋	2000	26	6.55	8.00	BOX	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	R9	経過観察				
63	3-733	2 4 9 号橋	不明	不明	16.76	4.58	BOX	R4	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ (M)	R9	予防修繕	2030	2031	1,748	
64	4-1	あらく跨道橋	2003	23	11.68	16.50	BOX	R4	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	R9	予防修繕	2028	2029	2,223	
65	4-2	3 0 7 号橋	不明	不明	7.40	4.40	R C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R9	経過観察				
66	4-2	3 0 7 号歩道橋	不明	不明	7.40	4.40	鋼	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	R9	経過観察	ボックスカルバート化を検討			
67	4-3	天明橋	不明	不明	9.00	2.50	BOX	R4	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ (M)	R9	早期修繕	2024	2025	19,000	
68	4-5	狭山湖橋	1963	63	8.00	4.00	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R9	経過観察				
69	4-5	不動橋	1963	63	7.93	5.50	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R9	経過観察				
70	4-7	寺山橋	1970	56	7.77	5.30	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	R9	経過観察				
71	4-8	1 1 9 号橋	不明	不明	6.40	2.40	BOX	R4	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ (M)	R9	予防修繕	2032	2033	2,395	
72	4-9	1 1 8 号橋	2002	24	7.15	2.40	BOX	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R9	経過観察				
73	4-11	1 1 7 号橋	不明	不明	9.25	2.40	R C	R4	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R9	予防修繕	2031	2032	4,419	
74	4-11	1 1 1 号橋	不明	不明	6.71	5.30	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R9	経過観察				
75	4-11	1 1 1 号橋歩道橋	2002	24	2.00	5.44	R C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R9	経過観察				
76	4-32	3 1 6 号橋	不明	不明	5.70	4.50	R C	R4	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	R9	早期修繕	2024	2025	19,000	
77	4-37	3 1 5 号橋	不明	不明	3.90	4.67	R C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	R9	経過観察				
78	4-45	3 1 3 号橋	不明	不明	3.90	3.75	R C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R9	経過観察				
79	4-46	3 1 2 号橋	不明	不明	5.80	3.15	R C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R9	経過観察				
80	4-46	3 1 2 号橋人道橋	1987	39	1.85	5.60	鋼	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	R9	経過観察				
81	4-63	3 1 4 号橋	不明	不明	3.88	4.40	R C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	R9	経過観察				

【個別の構造物ごとの事項】

No.	構造物の諸元							直近における点検結果				次回 定期点検 実施予定 年度	対策計画				
	路線番号	橋梁名	架設年次 (西暦)	経過 年数	幅員 (m)	橋長 (m)	構造 形式	実施 年度	健全性				対策内容	対策の着手	完了 予定年度	全体概算 事業費 (千円)	
									健全性	主要部材	主要部材外						
82	4-63	上新井陸橋	カミアイリツキョウ	1972	54	1.50	15.50	鋼	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R10	予防修繕	2031	2032	2,079
83	4-122	3 1 0号橋	310㊦ ㊦㊦㊦	1992	34	4.50	5.12	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ(M)	R9	経過観察			
84	4-136	3 0 9号橋	309㊦ ㊦㊦㊦	不明	不明	4.82	5.03	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ(M)	R9	経過観察			
85	4-170	3 0 8号橋	308㊦ ㊦㊦㊦	不明	不明	6.74	7.60	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ(M)	R9	経過観察			
86	4-197	2 2 1号橋	221㊦ ㊦㊦㊦	不明	不明	18.85	5.00	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ(M)	R9	経過観察			
87	4-197	小手指陸橋	コテシリツキョウ	1979	47	14.20	196.90	R C	R5	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	R10	早期修繕	2026	2027～	640,000
88	4-251	2 1 9号橋	219㊦ ㊦㊦㊦	不明	不明	12.80	5.20	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ(M)	R9	経過観察			
89	4-253	2 2 3号橋	223㊦ ㊦㊦㊦	不明	不明	7.00	4.80	BOX	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ(M)	R9	経過観察			
90	4-256	2 2 4号橋	224㊦ ㊦㊦㊦	不明	不明	7.35	4.80	BOX	R4	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ(M)	R9	予防修繕	2032	2033	2,223
91	4-260	2 2 2号橋	222㊦ ㊦㊦㊦	不明	不明	6.30	4.90	BOX	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ(M)	R9	経過観察			
92	4-262	2 2 0号橋	220㊦ ㊦㊦㊦	不明	不明	6.62	5.30	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ(M)	R9	経過観察			
93	4-265	2 1 6号橋	216㊦ ㊦㊦㊦	不明	不明	6.60	5.40	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ(M)	R9	経過観察			
94	4-268	2 1 7号橋	217㊦ ㊦㊦㊦	不明	不明	6.60	5.10	P C	R4	Ⅱ	Ⅱ(M)	Ⅱ(M)	R9	維持工事			
95	4-270	2 1 8号橋	218㊦ ㊦㊦㊦	不明	不明	6.60	5.10	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ(M)	R9	経過観察			
96	4-275	2 1 5号橋	215㊦ ㊦㊦㊦	不明	不明	6.60	5.30	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ(M)	R9	経過観察			
97	4-360	3 0 5号橋	305㊦ ㊦㊦㊦	1985	41	6.90	3.40	BOX	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ(M)	R9	経過観察			
98	4-370	5 3 8号橋	538㊦ ㊦㊦㊦	不明	不明	5.77	4.70	R C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ(M)	R9	経過観察			
99	4-381	泉橋	イズミバシ	1994	32	7.20	5.60	P C	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ(M)	R9	経過観察			
100	4- 457	2 0 9号橋	209㊦ ㊦㊦㊦	不明	不明	4.40	2.50	R C	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R10	予防修繕	2035	2036	2,723
101	4- 520	2 0 8号橋	208㊦ ㊦㊦㊦	1934	92	3.46	2.65	R C	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	R10	予防修繕	2037	2038	3,278
102	4- 529	2 1 0号橋	210㊦ ㊦㊦㊦	不明	不明	4.80	5.80	R C	R5	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	R10	経過観察			
103	4- 534	2 1 1号橋	211㊦ ㊦㊦㊦	不明	不明	4.43	6.00	R C	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ(M)	R10	予防修繕	2037	2038	5,706
104	4- 584	2 0 6号橋	206㊦ ㊦㊦㊦	不明	不明	7.10	2.24	BOX	R5	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	R10	経過観察			
105	4- 598	2 0 4号橋	204㊦ ㊦㊦㊦	不明	不明	3.00	4.00	R C	R5	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	R10	経過観察			
106	4- 707	1 0 3号橋	103㊦ ㊦㊦㊦	不明	不明	10.00	3.40	BOX	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R10	予防修繕	2032	2034	2,747
107	4- 709	1 0 8号橋	108㊦ ㊦㊦㊦	不明	不明	7.00	3.00	BOX	R5	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	R10	経過観察			
108	4- 723	金井沢橋	カナイザワバシ	1989	37	9.20	10.97	P C	R5	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ(M)	R10	経過観察			
109	4- 723	1 0 4号橋	104㊦ ㊦㊦㊦	1991	35	6.00	4.60	BOX	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R10	予防修繕	2040	2041	3,473
110	4- 724	1 0 9号橋	109㊦ ㊦㊦㊦	不明	不明	4.30	4.50	R C	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ(M)	R10	予防修繕	2034	2035	2,418
111	4- 724	1 0 5号橋	105㊦ ㊦㊦㊦	不明	不明	4.60	4.20	R C	R5	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	R10	経過観察			
112	4- 725	1 1 0号橋	110㊦ ㊦㊦㊦	不明	不明	4.30	4.05	R C	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ(M)	R10	予防修繕	2034	2035	2,723
113	4- 732	5 3 9号橋	539㊦ ㊦㊦㊦	不明	不明	6.00	3.90	BOX	R5	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	R10	経過観察			
114	4- 739	1 1 3号橋	113㊦ ㊦㊦㊦	不明	不明	4.40	6.10	P C	R5	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ(M)	R10	経過観察			
115	4- 740	1 1 2号橋	112㊦ ㊦㊦㊦	不明	不明	3.40	5.90	P C	R5	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ(M)	R10	経過観察			
116	4- 752	1 1 4号橋	114㊦ ㊦㊦㊦	不明	不明	3.37	6.40	P C	R5	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	R10	経過観察			
117	4- 902	新川橋	シンセンバシ	不明	不明	5.64	5.40	P C	R5	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	R10	経過観察			
118	4-1031	2 1 4号橋	214㊦ ㊦㊦㊦	1979	47	5.25	4.20	BOX	R5	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ(M)	R10	経過観察			
119	4-1033	1 2 0号橋	120㊦ ㊦㊦㊦	1990	36	11.00	3.90	BOX	R5	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	R10	経過観察			
120	4-1162	大六天橋	ダイロクテンバシ	2003	23	16.80	8.50	P C	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ(M)	R10	予防修繕	2026	2028	2,508
121	4-1190	上新井跨道橋 1号	カミアイコト ㊦㊦㊦㊦㊦㊦㊦㊦㊦	1999	27	6.45	15.40	BOX	R5	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	R10	経過観察			

【個別の構造物ごとの事項】

No.	構造物の諸元								直近における点検結果				次回 定期点検 実施予定 年度	対策計画			
	路線番号	橋梁名	架設年次 (西暦)	経過 年数	幅員 (m)	橋長 (m)	構造 形式	実施 年度	健全性			対策内容		対策の着手	完了 予定年度	全体概算 事業費 (千円)	
									健全性	主要部材	主要部材外						
122	4-1219	上新井跨道橋 2 号	ガミライコト ウキヨ2ゴウ	1999	27	6.45	15.40	BOX	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R10	予防修繕	2026	2028	3,272
123	4-1235	山下橋	ヤマシタハシ	2005	21	7.20	8.50	P C	R5	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R10	経過観察			
124	4-1237	西裏橋	ニシウラハシ	2002	24	7.20	9.50	P C	R5	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	R10	経過観察			
125	5- 1	樋ノ坪橋	ヒノツボハシ	1973	53	9.70	15.40	P C	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R10	予防修繕	2029	2030	2,089
126	5- 2	児泉橋	コイズミハシ	1972	54	10.20	16.80	P C	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ (M)	R10	予防修繕	2030	2031	4,928
127	5- 2	5 1 2 号橋	512ゴウ ウキヨ	不明	不明	16.10	3.00	BOX	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R10	予防修繕	2030	2031	2,223
128	5- 4	7 0 6 号橋	706ゴウ ウキヨ	不明	不明	8.05	3.20	R C	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R10	予防修繕	2028	2029	5,157
129	5- 35	二瀬橋	フタセハシ	1993	33	8.50	16.10	P C	R5	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	R10	経過観察			
130	5- 88	共開橋	キョウカイハシ	1977	49	1.60	20.60	銅	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R10	予防修繕	2041	2042	2,723
131	5- 115	勢揃橋	セイゾロハシ	1965	61	6.20	11.10	P C	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ (M)	R10	予防修繕	2031	2032	11,512
132	5- 115	勢揃橋歩道橋	セイゾロハシホト ウキヨ	1981	45	1.90	15.66	銅	R5	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	R10	早期修繕	2025	2027	16,833
133	5- 118	里橋	サトハシ	1967	59	3.00	12.80	銅	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R10	予防修繕	2036	2037	4,313
134	5- 118	里橋歩道橋	サトハシホト ウキヨ	2003	23	2.40	14.00	銅	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R10	予防修繕	2042	2043	2,462
135	5- 150	吾妻橋	アズマハシ	1966	60	5.70	12.60	P C	R5	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R10	経過観察			
136	5- 152	5 2 6 号橋	526ゴウ ウキヨ	不明	不明	4.00	4.50	R C	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R10	予防修繕	2034	2035	5,464
137	5- 185	5 2 5 号橋	525ゴウ ウキヨ	1968	58	7.70	2.80	R C	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R10	予防修繕	2031	2032	3,844
138	5- 199	原田橋	ハラダハシ	不明	不明	4.50	5.55	R C	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R10	予防修繕	2033	2034	6,808
139	5- 262	山王橋	サンノウハシ	1949	77	7.60	12.10	P C	R5	Ⅰ	Ⅱ (M)	Ⅱ (M)	R10	経過観察			
140	5- 425	本村橋	ホンムラハシ	1965	61	4.00	10.40	P C	R5	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R10	経過観察			
141	5- 490	地藏橋	ジゾウハシ	1970	56	1.90	14.00	銅	R5	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	R10	早期修繕	2025	2026	56,871
142	5- 501	泉橋	イズミハシ	1974	52	1.90	8.59	銅	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R10	予防修繕	2042	2043	2,351
143	5- 503	4 1 3 号橋	413ゴウ ウキヨ	1965	61	1.22	5.52	銅	R5	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	R10	早期修繕	2025	2026	9,518
144	5- 517	西ヶ谷戸橋	ニシガヤトハシ	1960	66	4.00	9.00	R C	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	R10	予防修繕	2041	2042	7,019
145	5- 546	神明橋	シメイハシ	1965	61	3.60	9.04	P C	R5	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	R10	経過観察			
146	5- 553	5 1 5 号橋	515ゴウ ウキヨ	1969	57	6.60	5.50	P C	R5	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R10	経過観察			
147	5- 558	桜淵橋	サクラフチハシ	1950	76	5.00	7.40	R C	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	R10	予防修繕	2041	2042	2,416
148	5- 558	桜淵橋歩道橋	サクラフチハシホト ウキヨ	1990	36	2.60	10.00	P C	R5	Ⅰ	Ⅱ (M)	Ⅱ (M)	R10	経過観察			
149	5- 573	5 1 3 号橋	513ゴウ ウキヨ	不明	不明	4.00	2.40	BOX	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R10	予防修繕	2038	2039	2,946
150	5- 575	5 1 4 号橋	514ゴウ ウキヨ	不明	不明	4.12	4.17	R C	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R10	予防修繕	2034	2035	3,623
151	5- 625	5 1 1 号橋	511ゴウ ウキヨ	不明	不明	7.10	2.94	BOX	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R10	予防修繕	2033	2034	2,946
152	5- 715	5 0 7 号橋	507ゴウ ウキヨ	不明	不明	8.81	3.50	BOX	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ (M)	R10	予防修繕	2033	2034	2,223
153	5- 717	判立橋	ハンタテハシ	1959	67	4.44	9.85	R C	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ (M)	R10	予防修繕	2041	2042	8,097
154	5- 726	新川橋	シンカワハシ	1960	66	4.08	7.60	R C	R5	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	R10	経過観察			
155	5- 726	旭橋	アサヒハシ	不明	不明	13.48	4.12	BOX	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R10	予防修繕	2037	2038	2,322
156	5- 739	吾庵橋	ゴアンハシ	不明	不明	7.90	2.30	BOX	R5	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	R10	経過観察			
157	5- 754	5 4 1 号橋	541ゴウ ウキヨ	不明	不明	5.84	2.50	銅	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R10	経過観察	ボックスカルバート化を検討		
158	5- 776	大鐘橋	オオカネハシ	1930	96	6.30	15.20	R C	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	R10	予防修繕	2030	2031	6,273
159	5- 800	川辺橋	カワベハシ	1972	54	2.90	8.10	銅	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R10	予防修繕	2037	2038	2,505
160	5- 870	みかど橋	ミカドハシ	不明	不明	6.00	1.80	BOX	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R10	予防修繕	2038	2039	2,946
161	5- 912	4 0 3 号橋	403ゴウ ウキヨ	1985	41	6.66	4.50	BOX	R5	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	R10	予防修繕	2039	2040	4,156
162	5- 953	4 0 2 号橋	402ゴウ ウキヨ	不明	不明	9.00	4.20	BOX	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R10	予防修繕	2032	2033	2,946

【個別の構造物ごとの事項】

No.	構造物の諸元							直近における点検結果				次回 定期点検 実施予定 年度	対策計画				
	路線番号	橋梁名 フリガナ	架設年次 (西暦)	経過 年数	幅員 (m)	橋長 (m)	構造 形式	実施 年度	健全性				対策内容	対策の着手	完了 予定年度	全体概算 事業費 (千円)	
									健全性	主要部材	主要部材外						
163	5-1064	栄橋	サエハシ	1970	56	8.39	7.60	R C	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ (M)	R10	予防修繕	2032	2033	8,757
164	5-1083	4 1 0 号橋	410丁 橋	不明	不明	4.60	5.35	BOX	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ (M)	R10	予防修繕	2038	2039	2,966
165	5-1083	4 0 9 号橋	409丁 橋	不明	不明	4.80	4.90	BOX	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ (M)	R10	予防修繕	2040	2041	2,729
166	5-1086	六ッ家橋	ムツヤハシ	1962	64	6.17	5.80	BOX	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ (M)	R10	予防修繕	2039	2040	3,409
167	5-1099	4 0 8 号橋	408丁 橋	不明	不明	5.30	4.83	BOX	R5	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R10	経過観察			
168	5-1139	4 0 6 号橋	406丁 橋	不明	不明	15.03	5.25	BOX	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R10	予防修繕	2032	2033	2,946
169	5-1147	4 0 5 号橋	405丁 橋	1985	41	9.41	3.70	BOX	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R10	予防修繕	2039	2040	4,921
170	5-1149	4 0 4 号橋	404丁 橋	不明	不明	4.34	4.33	P C	R5	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R10	経過観察			
171	5-1250	3 0 2 号橋	302丁 橋	不明	不明	5.10	4.13	R C	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ (M)	R10	予防修繕	2033	2035	2,723
172	5-1271	八幡橋	ハチマンハシ	不明	不明	9.15	1.80	BOX	R5	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	R10	経過観察			
173	5-1377	2 0 5 号橋	205丁 橋	1987	39	10.50	3.80	BOX	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R10	予防修繕	2039	2040	3,096
174	5-1387	2 0 1 号橋	201丁 橋	1987	39	19.00	4.10	BOX	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R10	予防修繕	2040	2041	5,572
175	5-1507	1 1 6 号橋	116丁 橋	1971	55	4.50	3.00	R C	R5	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R10	経過観察			
176	5-1631	松が丘陵橋	マツカ 外リツキヨ	1981	45	11.00	15.70	P C	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R10	予防修繕	2029	2030	7,257
177	5-1747	4 1 5 号橋	415丁 橋	不明	不明	7.19	2.41	BOX	R5	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	R10	経過観察			
178	5-1823	2 0 2 号橋	202丁 橋	1987	39	9.00	3.70	BOX	R5	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ (M)	R10	経過観察			
179	5-1997	5 4 2 号橋	542丁 橋	不明	不明	11.35	2.28	BOX	R5	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	R10	経過観察			
180	5-2002	5 4 4 号橋	544丁 橋	不明	不明	5.00	3.40	BOX	R5	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	R10	経過観察			
181	5- 746	5 4 1 - 1 号橋	541-1丁 橋	不明	不明	4.05	9.60	鋼	R5	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	R10	経過観察	ボックスカルバート化を検討		